



がん診療相談室・がんサロン『ゆい』たより 春号 令和6年5月

緑がまぶしい季節となりました。この過ごしやすい時期に、ちょっと行動範囲を広げて散歩をしてみたいはいかがでしょうか。通ったことのない道、訪れたことのない町を楽しみながら歩くことは、脳を適度にリフレッシュさせます。

AYA 世代の患者さんの診療について

東北大学病院
精神科 五十嵐 江美先生

《AYA 世代について》

AYA（読み方：アヤ）世代とは、15 歳から 39 歳の思春期・若年成人（Adolescent & Young Adult）の患者さんのことです。この世代では学業や就職、結婚、妊娠、子育てなど多くのライフイベントがありますので、がんとのお生活をおくる上でも特に色々な困り事を抱えやすい時期になります。また、同じ世代でがんにかかる患者さんが少ないことから、一緒に病気と闘う仲間を見つけにくく孤独感を抱えやすいとも言われています。

《当院で実施されている支援体制や取り組み》

このような背景から、2021 年に当院で AYA 世代がん患者さんへのケアシステム導入のためのワーキング・グループが立ち上がり、乳腺外科や小児科、婦人科など多くの診療科から多職種のスタッフが集まり AYA 世代の患者さんの診療について話し合いを重ねてきました。

その結果、以下のような支援体制や取り組みが始まりました。

◆2023 年には病院 1 階にある「がん診療相談室」の中に新しく「AYA がん相談窓口」を開設しました。AYA 世代の患者さんが抱えやすいお困りごとについて網羅的に把握するために、チェックシートも使いながら相談員がお話を伺います。「いろいろ困っていて悩みごとが整理できない」という方も、相談員と一緒に悩みごとを整理できますので、気軽にご相談ください。（相談に予約は必要ありません。通院時にお立ち寄りいただいても構いませんし、電話（022-717-7115）での相談もお受けいたします。）

◆2024 年 3 月 8 日に全国で開催されている AYA week にあわせて AYA 世代の患者さん向けの相談会・交流会イベントを開催しました。イベント当日は化粧品会社のスタッフさんがボランティアとして参加してくださりハンドトリートメントやメイクアドバイス、当院の管理栄養士による栄養相談、専門看護師・相談員によるがん相談もあり、悪天候ながら多くの患者さんにご参加いただきました。2024 年度も複数回開催を計画しており、次回は 7 月 26 日（金）午後に開催予定です。ご興味のある方は、お気軽にご参加ください。



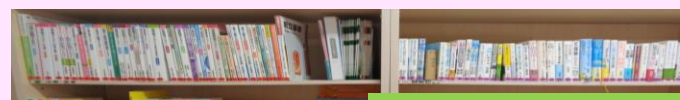
新しい書籍が入りました

治療や闘病記、一般書、子供向け絵本など様々な分野の本を取り揃え、貸し出ししています。閲覧、立読みでも構いません。診察の待ち時間にもご利用ください。

＜新規購入＞

ガイドライン各種

- 「国立がんセンターのがんとお金の本」
- 「人生たいていのことはどうにかなる」
- 「47 都道府県女ひとりで行ってみよう」
- 「がんがつなぐ足し算の縁」
- 「老いの地平線」
- 「がん経験者のリアルな生活」
- 「ちょうどいい孤独」
- 「中皮腫とともに生きる」
- 「がんの？に答える本」
- 「ぼくもたまにはがんになる」
- 「日本史を暴く」
- 「ちょうどいいわがまま」
- 「じい散歩」
- 「くもをさがす」
- 「アンと幸福」
- 「椿ノ恋文」



編集：根本、仙道、斎藤、畠山

ハローワーク・社会保険労務士出張相談会

今年度も就職支援ナビゲーターによるハローワーク相談会、社会保険労務士による労務管理や労働保険・社会保険などに関する相談会を開催します。以前はがんにかかれば仕事をやめざるを得ないと考えられがちでしたが、現在では治療と仕事を両立されている人が多くいらっしゃいます。働きたいと思っても、一歩が踏み出せないと悩んでいることはありませんか。問題解決に向けお手伝いします。相談は無料、予約制です。詳細はがん診療相談室にお問い合わせください。

